

岐阜県図書館協会

No. 46
平成30年3月

会報

事務局

〒500-8368

岐阜市宇佐4-2-1

岐阜県図書館内

電話(058)275-5111

岐阜県公共図書館協議会活動報告

本協議会では、県内の加盟館が連携し、図書館活動振興のための各種事業を行っている。

5月18日の総会後に開催した公共図書館長トップセミナーでは、「地域に役立つ図書館－確立の道程と発展の展望」と題して、筑波大学名誉教授の薬袋秀樹氏よりご講義をいただいた。加盟館の館長及び職員33名が参加し、地域の情報拠点として課題解決支援を担う図書館の運営について考える場となった。

10月13日には加盟館職員を対象とした職員研究集会を実施した。39名が参加したこの研修では「発達障がいへの理解と対応」をテーマに、岐阜県発達障害者支援センターのぞみの西脇裕美氏にご指導をいただき、発達障がいの特徴や図書館における心構え、具体的な対応方法について学んだ。

この他、加盟館共同事業として、スタンプラ



リー「清流の国ぎふの図書館をめぐる」を実施した。これは、地域の図書館の魅力をより多くの県民に知ってもらうことで図書館利用の促進を図ることを目的と

したもので、実施期間は秋の読書週間から約2か月、案内リーフレットには各館のイベントを掲載し、スタンプを集めた人にはオリジナルグッズをプレゼントした。地域により参加者数の差はあったものの、図書館に足を運んでもらうきっかけの一つとなった。

また、加盟館共通テーマ資料展示として「郷土の偉人 杉原千畝」をテーマに、各館で関連資料を一斉に展示紹介した。県内の公民館図書室や高校図書館にも呼びかけ、それぞれ1室、18校でも展示が行われた。

●県内公共図書館の動向

美濃加茂市中央図書館は開館30周年、恵那市中央図書館は開館10周年、飛騨市神岡図書館は移転開館1周年を迎え、各館で記念事業を実施した。

地域の課題解決支援の取り組みとして、ビジネス支援分野では、岐阜市立中央図書館がビジネスチャレンジ支援相談窓口の利用者増加を受けて、窓口開設を週1回から2回に増やした。

高齢化に対応した取り組みとして、5月に飛騨市神岡図書館が「シルバー学級向けのおはなし会」を実施、美濃白川楽集館は8月から認知症カフェへの訪問貸出を開始した。また、岐南町図書館は10月から来館が困難な町民を対象に図書館資料の宅配を開始した。

岐阜市では、4月からシステム連携により小

学校で市立図書館の本を貸出可能とした。

●岐阜県図書館について

運営方針に「能動的課題解決支援」を掲げ、子育て支援として「パパと過ごす図書館」を、障がい者等への支援として発達障害者支援センターへ出前図書館等を実施、健康医療分野への支援として県総合医療センター内に県図書館資料コーナーを設置した。

また、学校教育支援として館内に教材研究支援コーナーを、ビジネス支援としてデータベース端末と企業情報資料を集めたビジネス支援コーナーを設置した。

郷土を知り学ぶ場の創出として、岐阜大学と連携して「岐阜学講座」を定期開催し、10月から企画展示「小説家の素顔に迫る」、1月から同「飛山濃水の文学」と題して郷土作家を紹介した。

サービス面では、遠隔地利用者の利便性向上のため、9月よりインターネットでの貸出延長サービス、1月より宅配サービスを開始した。また、2月よりマイナンバーカードを図書館カードとして活用する実証実験を開始した。

(岐阜県公共図書館協議会事務局)

岐阜県大学図書館協議会活動報告

平成29年度、岐阜県大学図書館協議会として次の活動を行った。

- 運営委員会（7月18日 岐阜大学）
- 総会（8月3日 岐阜薬科大学）
- 講演会（8月3日 岐阜薬科大学）
- 視察研修会（12月18日 豊橋技術科学大学
附属図書館の施設見学）

平成29年度の総会は、当番大学の岐阜薬科大学を会場とし、会務報告の後、以下の項目について協議した。

- (1) 平成28年度決算（案）について
- (2) 平成29年度予算（案）について
- (3) 研修会（講演会）（案）について
- (4) 研修会（視察研修会）（案）について
- (5) 情報交換

情報交換では、以下の取組等についてそれぞれ説明・紹介を行い、これらについて種々意見交換を行った。

- ・図書館システムのリプレイスについて

総会終了後に、岐阜薬科大学と本協議会との共催で、岐阜薬科大学薬草園研究室 教授・薬草園 園長の酒井英二先生による講演会「テーマ：身近な薬草・毒草」を開催した。講演では、植物を使った実験も交えながら、春の七草などの薬草や、ワラビ、ジャガイモやギンナンの毒性などについての話があり、参加者は興味深く話に聞き入った。

視察研修会は、平成28年度に改修工事を行った豊橋技術科学大学附属図書館の見学を行い、6会員館から合計12名の図書館職員が参加した。

図書館1階には、技術科学によるイノベーション創出や、グローバルに活躍できる優れた技術者・研究者の育成のため、多文化共生グローバルキャンパスの核として、「マルチプラザ」が整備され、日本人学生・留学生・教職員・企業・地域との交流等を行うエリアとして多くの学生で賑わっていた。マルチプラザ内の女性支援エリアには、女性専用の休憩室や授乳コーナー等があり、女子学生や女性研究者等のサポート体制の充実を図っていた。また、カフェ店舗の設置により、飲食可能エリアとして交流を促進している図書カフェ、図書館内部から外部へのつ

ながりや人の流れを大切にしたい一体的な空間として、図書館北側にはパブリックスペースが整備されていた。

本協議会は、大学図書館の振興のために、今後も相互に連携を深める活動を積極的に取り組んでいきたい。

(岐阜県大学図書館協議会事務局)

岐阜県学校図書館協議会活動報告

岐阜県学校図書館協議会では、下記のように学校図書館の充実発展を図るための研究会や研修会と、児童生徒の読書の振興を図るための各種コンクールを行っている。

●研究会、研修会

(1) 第1回研究会及び代表者会

(5月17日 岐阜市教育研究所)

活動計画、予算、研究大会の計画などの協議や連絡をすると共に、岐阜県教育委員会学校支援課課長補佐 渡部彰規先生より「岐阜県の学校図書館の現状と課題」という題で講話をいただいた。「岐阜県子どもの読書活動推進計画」についてのお話や、高校の図書館経営優良校の紹介もあり、小中学校とのつながりについて考えることができた。県下各地区から理事や代表者が集い、子どもの読書や図書館教育の推進について共通理解を図ることができた。

(2) 夏季ゼミナール

(8月18日 関市わかきプラザ)

「読み聞かせの大切さ」という演題で、金森さち子氏にお話いただいた。金森氏は、文部科学省認定生涯学習インストラクター、岐阜県図書館協議会委員として、ご活躍の方である。絵本

をたくさん読み聞かせていただき、理論的な裏付けと共に、読み聞かせのよさを実感させられる時間となった。読み聞かせの時間を聞き手と読み手が共有することで、心豊かな子を育てることにつながる。「本を通して人を知る、人を通して本を知る」という言葉の通り、子どもの真の姿を知るてがかりにもなる、心温まる時間となった。

(3) 第2回研究会及び代表者会

(2月21日 岐阜県総合教育センター)

研究会や各種コンクールの報告、来年度の県大会に関する確認を行った。また、今年度学校図書館教育最優秀賞受賞校の中で、岐阜市立則武小学校、海津市立平田中学校の2校に図書館教育の実践発表をしていただいた。アイデア満載の図書館運営について学ぶいい機会となった。

●各種コンクール

(1) 第49回図書館だよりコンクール (高等学校)

(2) 第63回読書感想文コンクール (小中学校、高等学校)

(3) 第29回読書感想画コンクール (小中学校、高等学校)

(4) 第38回図書館利用記録コンクール (小学校、中学校)

それぞれに多数の参加があり、素晴らしい作品が集まった。

岐阜県独自のコンクールである、「図書館利用記録コンクール」では、複数の図書資料やインターネットを利用しての調べ学習の過程が綴られ、読む人の胸をうつような感動や発見のある作品が集まっている。今後もこうした事業を通して、読書活動等がますます豊かに発展することを願っている。

(岐阜県学校図書館協議会事務局)

平成29年度事業報告

●図書館活動研究大会

(10月13日 岐阜県図書館 61人参加)

NPO法人ガリレオ工房理事・土井美香子氏を講師に、「理科読をはじめようー『実験！発見！空気の本』ー」と題して、理科読を始めるための理論と進め方について、身近な材料を使った科学実験の実演を交えながらわかりやすく解説いただいた。講演後、参加者がワークショップと発表を行い、発表について講師が講評することで理解が一層深まる研修会となった。参加者の感想からは、苦手な理系のブックトークに挑戦したい、日常のなんでもないことを理科の内容で気づき見つめ、体験する大切さを感じたなど、理科読実践への意欲の盛り上がりが見られた。



●学校図書館職員対象研修会

(1) アクティブラーニングと学校図書館

(12月20日 OKBふれあい会館 47人参加)

今年度初めて、岐阜県教育委員会事務局教職員課との共催で研修会を開催した。講師の日本大学芸術学部の小野永貴氏からは、アクティブラーニングと学校図書館について、教育の動向をはじめ、高校や大学図書館でのさまざまな実践の紹介を交えて解説いただいた。参加者からは、アプローチの仕方に刺激を受けた、教職員への情報発信を意識したいなどの感想が寄せら

れ、有益な研修会となったことがうかがわれた。



(2) 本の修理講座（初級編）

(1月25日 岐阜県図書館 13人参加)

昨年度好評だった本の修理講座を、今年度も図書用品タナカの田中稔氏を講師に開催した。本の構造を詳しく説明いただいたのち、本の破損状況に応じた修理方法についてユーモアを交えて教えていただいた。参加者からは、実務に役立つ内容で有意義だったという感想が多く寄せられた。



●その他

・資料発行

「会報」(46号) 平成30年3月

・会議

理事会 6月28日

相互協力部会 8月24日

(岐阜県図書館協会事務局)